

《第2回全体学習》

同和問題（道徳）学習指導案

1993年5月27日 5校時

3年D組授業者 岡田 隆志

1. 主 題 人間としての生き方を求めて

2. 主題設定の理由

同和教育とはどんな教育か。この問いかけに対して、私は明確な解答が出せないゆえに、その原点にかえり、本質を見極めねばならないのではないだろうか。それは10年前読んだある文献に、次のような論述がなされていたからである。「ひとくちに差別といっても、女性に対する差別、民族に対する差別、貧しい人に対する差別、また北海道ではアイヌの人に対する差別などがあります。よく部落差別は、これらの差別とは違うんだといわれます。その通り、それぞれの差別がもつ歴史性や社会性は違います。しかし人間が人間を差別していること自体は、どの差別でも同じです。なぜ人間が人間を差別するのか、この問題をまずはっきりさせておかねばなりませんこのことがはっきり理解されれば、それぞれの差別が存在する理由も自からはっきりしてきます。」今日、同和教育はほとんどの学校や地域で、教育の原点に据えて取り組まれている。しかし、実際の場において、どれほど的確な方法でまた、どのように実践されているのかを考察すると、重要な教育課題とされているにもかかわらず、それに適したものになっていないのが実状であろう。差別解消についての見解は、当初人の考え方や心のもち方によって差別が消失するように考えていた。しかし、現実には差別を否定する思想の下においても、差別は存在している。つまり、差別は人の心のもち方や考え方が変容しただけでは、なくなならないということを文献より知り得た。

さて、板野中学に赴任して全体学習と出会い、前年度実施された全体学習の記録や感想を読むほどに、こみあげてくるものがあり、そのように生徒の発言が飛び交うものであるなら、同和教育のすばらしい実践形態であると思う。自分自身の考えや思いをそのまま表現し、それらを通してお互いを理解していこうとしている。そして、その学習の積み重ねにより、生徒の考え方が変容するであろうということと同時に、その全体学習が成立していく背景には、生徒たちの発言を受容する態勢が整備されているのだと思う。

ところで、第2回目の全体学習を担当することになり、今私も生徒もそれに向けて同和問題学習に取り組んでいる。4月上旬、3年D組の生徒の印象は予想外に、極めてよいものであった。服装、時間厳守、清掃、係活動、学習態度等どれ一つを例示してもほとんどきちんとしていた。さらに、譲りあいの精神も醸成されているように思えた。私自身、超多忙な日々であったが、よい生徒に恵まれたことは救いである。しかし、まだまだ改善せねばならないことも少なくない。そして、いじめなどの事象が全くないかといえ、それも疑問である。

そこで、今回の全体学習においては生徒一人一人が自らの考えを述べ、お互いがその意見やおかれている立場を認識し、それらを通して各々の考え方が変容し、さらに「差別を排除していこうとする学級態勢づくり」を目指したものにしたい。

また、全体学習の資料として「自分以下を求める心」を選択したが、生徒に尋ねるとすでに1～2度同和問題学習の資料として、読んだことがあるそうである。しかし、再度それを精読しながら思っていることや考え方を語り合い、今日までの自己の学校生活を省み、人間らしく生きるということは、自己の心の中に存在する差別心を見極め人としてよりよく生きていこうとすること、仲間どうしお互いに支え合い、励まし合っていかなければならないことを認識させたい。その過程を経ながら新たな自己及び学級態勢の変容を期待するという思いから、主題設定した。

3. ねらい

差別の本質と自らの差別性に気づき、人間としての生き方を求めて、科学的かつ合理的判断力を養い、常に真実を見極め、また自己の考え方を変容させる。そして、同和問題解決に取り組んでいこうとする意欲と実践力を育成させる。

4. 視点 : 集団と連帯

5. 指導計画

(1)事前指導

- ・ 道徳 「母の願い」(全同教福岡大会より) …… 2時間
- ・ 第1回全体学習 「母の願い」(全同教福岡大会より) …… 2時間

(2)本時の指導

- ・ 道徳 「差別とたたかう人間になるため」(部落問題と教育) … 1時間
- ・ 道徳 「自分以下を求める心」(佐藤文彦) …… 1時間
- ・ 第2回全体学習 「自分以下を求める心」(佐藤文彦) …… 2時間(1/2)

(3)事後指導

- ・ 道徳 「意識の芽ばえ」(丸岡忠雄) …… 2時間
- ・ 第3回全体学習 「意識の芽ばえ」(丸岡忠雄) …… 2時間

6. 本時の目標

(1)目標

自分以下のいない生き方とはいかなるものであるかを考え、各々の思いを語り合うことにより、お互いの個性や気持ちを認識し、その投合を図る。また、そのことが差別解消につながるということを理解させ、ひいては部落差別解消に積極的に取り組む態度と、そのベースとなる堅い絆を育成する。

(2)展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
・ とくに印象深かった箇所について一人一人の思いを発表する。 ・ 「自分以下の心がほしい」心とは、どのような心が考える。 ・ 「身のまわりを見ても、努力しない人ほど、他人を傷つけたり、とやかく…」ということについて発表する。 ・ 「自分以下などいない生き方をつかむことが差別やいじめをなくすことだと、だんだんわかってきました。」ということについて考える。 ・ 『「今の自分以上をめざす」そのために全力で生きる。他人のことをとやかく言わないんだから、ほんとうに仲間として力が合わせられる。」ということについて発表する。 ・ この資料が、読者に訴えたかったことは何かを考える。	・ 最も印象深いところはどの部分か、またそれはどうしてかを考えさせる。 ・ 自分自身の生活の中で自分以下を求める心はないか考えさせる。 ・ 差別の本質について考えさせる。 ・ 同和問題学習は、他人ごとでなく自分自身の問題であることに気づかせる。 ・ 科学的思考、正しい判断力をベースとした生き方について考えさせる。 ・ 私たちのあるべき姿について考えさせる。 ・ 人の悲しみや苦しみがわかる人間になること。 ・ 自分の幸せだけでなく、他の多くの人々を幸せにしていく生き方。 ・ この資料の背景にあることがら、とくに述べたことは何かを考えさせる。

【資料】

自分以下を求める心

あれは、小学校2年生のことです。私たちのクラスに、よくいじめられる女の子がいました。私も、他の人たちと一緒に、いじめては笑っていました。その頃の私の気持ちは、「自分以下の存在が欲しかった」のだと、今になって気づきます。あの時のあの子が、もし自分だったらと思うと、今までいじめた人に対して、あやまらなくてはなりません。

自分をみがく努力もしないで、ただ自分以下が欲しいだけでいじめるのは、やっぱり差別ですね。部落差別やいろいろの差別について、たくさんのことを勉強してきた私ですが、実際の生活ではそれをまるで生かしていませんでした。なんか今。考えてみると、「なぜあの時、あんなことをしたんだろう」と思ってしまいます。

思っているだけ、悪いと知っているだけでは、すぐボロツと言ってしまっただけで相手を傷つけたり、がっかりさせたりしてしまいます。

どうして私はこうなんだろう。やっぱり、自分以下がほしいという気持ちが心の底にあって、それが作用しているのでしょうか。

私は、自分以下がいらない人間になりたいです。そのために自分の生活にまじめにぶつからなくてはなりません。こう考えてくると、ひとのことを、とやかくいわない生き方は大切なことなんです。立派な人の証明なんです。身のまわりを見ても、努力しない人ほど、他人を傷つけたり、とやかく言ったりしています。まるで魅力のない生き方ですね。その中に私もいるかと思うと、恥ずかしくなります。

自分以下などいらない生き方をつかむことが差別やいじめをなくすことだと、だんだんわかってきました。

学校でやっている「自分新聞」や「生活の記録」、これなども、何枚も何冊も挑戦している人は、他人のことなどイヤミをいっている暇はないですからね。

「今の自分以上をめざす」そのために全力で生きる。他人のことをとやかく言わないんだから、ほんとうに仲間として力が合わせられる。すてきなことです。

私たちは、得意もあれば不得意もあります。すべてをかつこよくやることはできません。なのに、人の小さな欠点を探し出して、いじめたり、自分をすぐれていると思い違いするのは、恥ずかしいことです。ねっ先生、とっても恥ずかしいことです。

私は今まで、人間として恥ずかしい生き方をしてきたのです。何べんも、何べんも、まちがったことをしました。だから、他の人が私をいじめた時、そのまちがいがはつきりわからなかったのです。

(佐藤文彦)

1993年5月27日（木）第5校時

3年D組 授業者 岡田 隆志

T(森口)：3年D組が授業をしてくれます。メモをとって付けてください。5時間目の授業を見て、また6時間目、みんなで深めていきましょう。3年生にとっては2回目の全体学習です。前回の学習のことを思い返しながら、資料に寄せて、本当の思いを語り合う、やって良かったという時間にしていきましょう。全体で礼をしてはじめます。（礼）

T：3年生の全体学習は今回が2回目になりますが、前回の全体学習の時は3年A組を中心として、多くの人が自分の思っていることや、考えていることを発言できて、本当に意義ある全体学習になったと思います。今日の授業は“自分以下を求める心”という資料をもとにして、学習を進めていきたいと思います。前回に引き続いて、更にいっそう多くの人が、自分の思っていることを、自主的に発言してくれることを期待しています。それで“自分以下を求める心”を読んでみて特に印象深かったところ、あるいは自分の生活を振り返ってみて、今までに、小学校、中学校と何年か生活をおくってきて、こういうことがあったとか、ああいうことがあったとか、そして自分はこういう思いで、こういう気持ちで生活してきたんだということでもいいです。また、さきほど言いましたが、この資料を読んで印象深かったところ、そして更にそれに付け加えて何かあれば発表してほしいと思います。

SA(男)“今の自分以上を目指す。そのために全力で生きる。”という文章で自分が思ったことは、今の自分に満足せず、今以上に努力することが今の僕自身に足りないことだと思います。今の自分は、「まあこれくらいできたらいいや」という満足した部分が多いに見られました。やっぱり、もう一つ上の高いレベルを目指して行きたいと思います。そのためには全力で何事にもぶつかる、何事にも全力投球するというのが、自分に言い聞かせたいことだと思います。

AT(男)僕もS君と同じ所で、自分以下を求めることは、ものすごく簡単なことだけど、自分以上を目指すということは、今の自分に打ち勝つことだと思います。半端な気持ちだと自分自身に負けてしまうからだと思います。

YY(女)私が印象深かったところは、“人間として恥ずかしくない生き方をして……”というところです。私は人間として恥ずかしくない生き方をしてきたかなあと思いました。そして、恥ずかしくない生き方がどんなものかと思いました。それは多分、人の気持ちを考えていかなければいけないことだと思います。

T：3人の人が発表してくれましたが、他の人も発表してください。印象に残ったこと、自分の生活を振り返って、どうでしょうか。YRさん、HMさん、STさん、Mさん、Iさん、O君、順番に発表してください。

YR(女)私が印象深かったところは“思っているだけ、悪いと知っているだけでは、すぐボロツと言ってしまうと、相手を傷つけたり、がっかりさせています。”というところです。私もその通りだと思います。思っているだけではダメだし、悪いと思っただけでもダメだと思います。私もよく友達にボロツと言ってしまうことがあります。そのときの相手の気持ちを良く考えたいと思います。

HM(女)私が印象に残ったことは“あの時のあの子かもし自分だったら……。”というところで、それは自分自身よく思うことで、そういう風に反省することはやっぱり私も何らかの形で、

加害者になっているんだと思いました。反省のない人生なんてないかもしれません。でもその回数を多くするか、少なくするかは個人的問題なので気を付けたいと思います。

ST(女)私は“自分以下などいろいろな生き方を掴むことが、差別やいじめをなくすこと、自分以上を目指す、そのために全力で生きる。”というところが印象に残りました。自分以下などいろいろな生き方をしていきたいです。本音では人間誰でも自分以下を求める心を持っていると思います。しかし、それをなくしていけば、信頼できる、助け合える仲間ができると思います。

MM(女)私は“人のことをとやかく言わない生き方は大切なことなんです。”というところが印象に残りました。そういう生き方は本当に大切な生き方であるということは判るけど、私はまだまだ人のことがいろいろ気になったり、気が付かないうちに傷付けたりしていると思います。だからこれからは少しずつでもそういう生き方は止めて、人のことをとやかく言わない生き方をしていきたいと思います。



IM(女)私は“思っているだけ、悪いと知っているだけでは、すぐポロッと言ってしまう。”というところで、私もこれと同じで、いつも悪いと知っているんだけど、人に悪口を言われたら言い返してしまうという気があって、心で判っていないから本当に人が悪口を言われて傷ついていることを考えたことがなかったから、すぐ悪口を言ってしまったんだと思いました。

OH(男)僕が印象に残ったことは“私たちは得意もあれば、不得意もあります。すべてをかつこよくやることはできません。なのに、人の小さな欠点を探し出していじめたり、自分を優れていると思い違いするのは、恥ずかしいことですね。”というところで、僕はこの人が恥ずかしいのでなく、情けないのだと思いました。

T : 早速、10名近くの人が、印象に残ったこととか、自分の考えていることを話してくれました。初めと言うのは誰でもそうですが発表しづらいと思います。でも、これだけ発表できたということは、周りのそれぞれの仲間、友人を信頼しているから言えると思います。この後テーマがいくつかありますが他の人もがんばって発表してみてください。他に印象に残ったところはありますか。それでは、この資料の題目でもある“自分以下を求める心”について、今みんなが印象に残った部分、あるいは感動したところを自分の思いをおりませながら発表してもらったんですが、この学習プリントの“自分以下の存在がほしい心”とはどういう心だと思いますか。少し難しいかもしれませんが、自分はこう思うというところで、答えという、模範的な解答は存在しないと考えていいと思います。自分は今こう思うというのでけっこうですから思うところを発表してみてください。どうでしょうか。

SA(男)自分以下の存在がほしいということは、一言で言うならば、安心できる心だと思います。それに、安心したいという思いが強ければ強いほど、この心が生まれてくると思います。それは江戸時代にも、士、農、工、商とさらに低い身分というふうに、更に低い身分があれば上のものは安心できる。だからこの“私”も自分より下の存在が欲しかったのだと後で思っ

たと思います。自分以下の存在を求める人は、人間として弱い心を持っていると思います。

T₄: 部落差別のことも考えの中にいれての発表でしたね。江戸時代に作られた階級も、“自分以下を求める心”につながりがあると思います。ほかにどうでしょうか。

MD(男) 僕もS君と同じで、自分を安心させるため、自分の心を安心させようとする心が、“自分以下を求める心”につながってくると思います。自分以下の存在が欲しいと思う人間は、自分の足元を見て生きているようなものだと思います。僕自身も自分以下の存在が欲しいと思ったことがないとは言えません。でも、自分自身がそんなことを思っているかと思うと腹が立ちます。だからそんな風な考え方は絶対に止めたいです。

T₅: 今の意見は自分の考えていることをそのまま発表してくれたと思います。どうでしょう。それぞれみんなが発表してくれていることに関してでもいいですから、必ずしもこの学習プリントのテーマ通りでなくてもいいですから、自分が今こう話したい。こう思うから発言する。そういう風なのでもけっこうですから発表してください。取り組んでいくことがとにかく大事ですから、取り組むということは自分の考えていること、思っていることをクラスメートや学年の仲間に自分の思いを伝え、自分の気持ちをわかってもらうことがまず大切です。

HI(女) ちょっとのことでくじけてしまうような人がそういうことをするのだと思う。そして、自分より下の人を見て自分を励ましているのだと思います。そして優越感に浸っているのだと思います。

T₆: 優越感という言葉ができませんでした。ちょっと考えてみると、そういう部分もないとは言えないかもしれませんね。人それぞれに、一人一人に。次の質問ですが、この“自分以下を求める心”の資料の中の、割合ははっきり言った言葉だと思うのですが、“身の回りを見ても、努力しない人ほど他人を傷付けたり、とやかく言ったりしています。まるで魅力のない生き方ですね。” こういう部分がありますが、初めの方でも言ったように、自分の学校生活を通して、また、今までのことを振り返りながら考えてみると、自分もそうだし、自分の仲間もどうだろう、そのような部分がみられないか、ということも考えながら、この言葉をどう思うか発表してみてください。

YR(女) 私も身の回りを見たとやかく言ったりしています。自分の心の中に“自分以下を求める心”があるからだと思います。自分がとても弱いからだと思います。こんな自分にとても腹が立ちます。

SA(男) この文章は今の僕に当てはまると思います。僕は、ちょっとしたことでボロッと行って、相手を傷付けてしまいます。結局それが悪いことだと判っていてもすぐに口にでます。そして、謝りたいのだけどなかなか謝れなくて、いつも心の中にずっとそういう気持ちを抱え持っています。だから、少しずつでもそのことを改善していける生き方をしていこうと思っても、いつも失敗してしまいます。

T₇: 二人の人に発表してもらいましたが、今の自分の気持ちを表現しようとして、真剣に考えているのが今の発表でもよく判ると思います。頭の中で考えて、まとめられない場合もあると思いますが、しかし自分の気持ちをそのまま伝えてくれたと思います。

IM(女) 私もこの言葉にあるようなことで、人のことはとやかく言って厳しいのに、自分に対してはすごく甘くて、人の欠点を見つけるんだけど自分の欠点は見つけれないって人間で、さっきも言ったけど、差別は悪いって判っているんだけど、それが判っているだけで行動に出せないから、人を傷付けたりしてしまうのだと思います。

TY(男)僕もあまり言えないけど、“努力しない人は他人を傷付けたり、とやかく言ったりしてしまいます。”という意見から、ある人が部落差別について力をいれなくても、僕達は何も言えないと思います。周りの人も完璧っていうくらい差別をなくしているわけではないはずです。学校では差別をしていないとしても、家に帰ったときはどうでしょう。絶対に自分以下を求めているはずです。世の中で差別心を持っていない人なんて一人もいないと僕は思います。絶対にどこかで差別をしているはずです。

AT(男)僕もこういう人の中の一人やけど、人は人って割り切っているつもりなんだけど、友達とかと話をしたらそんなことをすぐに忘れてしまっって、ポロッと言うてしまいます。人がしたらそういうのは悪いと思うけど自分がしたらどうしても気付けんようになってしまいます。

HM(女)私も親によく似たことを言われることがあります。「人のことを言う前に、一度でも自分を見直してから……」と言われます。こういうことってけっこうよくあって、自分ではできないのに、人にばかり提案する人、人のことを言う前に自分自身を見直して、少しでも自分を磨きたいと思います。

HI(女)私はテストのことで自分以下を求めていると言われたことが2回あります。本当にそうだと思いました。



“自分より下がおるわ”とか思っていたから自分の成績に自身があって、それより上を目指していなかったのだと思います。目標を作って、それに向かって実行して、下を見ないで生活していきたいです。難しいことだけど、自分なりに目標をたてて進みたいと思います。

ST(女)他人を傷付けたり、とやかく言ったりしている人は、人の立場に立って考えられないのだと思います。私もついそんなことを言うてしまうことがあります。でも自分だって嫌なことは相手だって嫌だから、人の立場に立って考えられる人間になりたいです。

OH(男)僕も身の回りを見てみると、相手の気持ちを考えず、ついうっかり口が滑ったり、自分はジョーダンのつもりで言っってしまったたりして他人を傷付けてしまいます。人のことはとやかく言うのに、自分には甘くしてすごく情けないと思いました。

T.: ほかどうでしょうか。もう回数にしたら数え切れないというほどでもないですが、多くの人がこのテーマに付いて、自分の考えていることや、今差別に付いて自分が思っていることを語ってくれたのですが、今日の目的というか、とにかく自分の思いを語ってくれることを期待していますから、どんどん発表してください。そしてそれが同和問題の解決の第一歩だということで、学年全体足並み揃えて学習しているのですから、それではもう一度学習プリントに戻りますが、4番です。“自分以下などいらない生き方を掴むことが差別をなくすることだ”とだんだん判ってきました。”この資料の中の“私”は判ってきたんでしょうね。しかし実際みんなはどうでしょうか。これからの生活の中で実践していけるでしょうか。あるいはこの言葉に対して、どういう思うか。発表してみてください。これについてはそれぞれ意

見があると思います。考え方の違いですから。こう言いけることができれば、それはすばらしいことだと思います。しかし、そうなくて、今自分がこれに対してどう思うか発表してみてください。

KJ(女)私も自分以下の心なんていないというのは判っているけど、どうしても心の中に残ってしまうものだと思います。自分より下の人がいるから安心だと思ってしまうところがあります。

MD(男)自分以下などいない生き方を掴むというのは、自分以下を求める心をなくすことにつながっていくと思います。自分以下を求める心をなくすと、差別やいじめがなくなるというのは、当たり前のことだと思います。でもその当たり前のことができず、差別なんかを続けていくことは非常に恥ずかしいことだと思います。

AT(男)差別やいじめは自分以下の人に対してしていることだと思います。だから自分以下がいらないということは、差別される人やいじめられる人がいないということだと思います。差別されたり、いじめられたりする人がいないのなら、差別もいじめもなくなると思います。

T。: これについても早速3人の人が発表してくれましたが、その中で、友達の意見を聞いて、考えを聞いて、自分は新たにこういう考えになったとか、これからこうやっていこうというのを発表してくれてもいいです。もちろんテーマに即して発言してもらってもいいです。どうでしょうか。それでは5番の所に移りたいと思います。資料の中では22行目から23行目になりますが、“今の自分以上を目指す。そのために全力で生きる。他人のことをとやかく言わないのだから本当に仲間として力を合わせられる。”とあります。これはどうでしょうか。これからの学校生活で、仲間とのコミュニケーションに深く関わることをと思います。この言葉だけをとりてみたら、本当に何か訴えているような気はするのですが、どうでしょうか。

YY(女)自分以下を求めるのなら、自分は全然努力せず、自分以下の人間ばかり探しているけど、自分以上だったら、自分自身で向上心を育てていけることができます。私はまだ自分以下の人間ばかり求めています。だからまだ自分の心の中に自分以上を求める向上心ができてないんだと思いました。

KK(男)僕が本当に自分以上になりたいのなら、テストに例えると、テストの点が自分より上の人に勝ちたいと思う気持ちがあれば、テストの点だって上がるだろうし、自分以下を求める心も次第に消えてしまうと思います。

IM(女)私はこの言葉を読んで思ったことは、自分はこんな向上していける心を持っていなかったんだと思いました。自分以下ばかり、毎日といっていいほど探し続けていたと思います。今の自分以上を目指していけるような心があつたとしたら、この資料にもあつたように、本当にみんなと力を合わせていけると思います。そんな自分のような人が増えていったら、本当にクラスはまとまっていけるけど、今の自分にはそういう人になれる自身がありません。

SA(男)“今の自分以上を目指す、そのために全力で生きる”ということは、今の自分に満足していたら、それ以上の進歩は望めないことになります。人間はいろいろ学習し学ぶことによって、進歩していくと思います。どんな小さな、些細なことでも、そのために全力でできるということは、何事もできることにつながると思います。一つのことも満足にできないのに、部落問題学習に真剣に取り組むこともできないと思います。

KH(女)自分以上を目指すのは、自分のために一生懸命していることです。自分以下など不必要なんだと思います。自分の力で自分をあげようとしているから、自分の力だけが必要なんだと

思います。私は今まで、他の人と比べてきたから自分が向上しなかったんだと思います。前の自分と比べたときそう思いました。本当に闘う相手は自分自身だと思います。何のことにしてもだと思えます。ちょっと前まで私はこんな考え方ではありませんでした。いろんな人や先生に出会って、そして思いが変わってきました。でも私は努力がまだまだできていません。自分のために努力したいと思います。

YY(男)人の小さな欠点を探し出して、いじめたり、差別したりしないで、人のいいところ探し出して、自分以下を求めるのではなくて、今の自分以上を目指していきたいです。

YM(男)自分以下を求める心は必ず誰でもあると思う。自分以下が欲しいと誰でも思っていると思います。自分より勉強やスポーツが下の人を探していると思う。でも下ばかり見ていると何の進歩もないと思います。自分以上がいるということは、自分以下もいると思う。そこで自分以下をいつも求めず、自分以上を見ていきたいと思います。

NM(女)私もYM君と同じで自分以下の存在が欲しいという心は、多分みんな持っているんじゃないかと思います。もちろん私にもあると思います。自分以下の存在があると安心するからだと思います。でも自分以下の存在を探して安心していたのでは今の自分以上にはなれないと思います。

T₁₀:今日は同和問題学習に取り組むということで、一人でも多くの人が、何回でも発表してくれることを期待し、また、周りの人はその発表を受け入れてくれると思いますから、そういう面では周りの友達を信頼して欲しいと思います。友達が発言したことを受け入れて、それに自分も答えていくということが、同和問題学習に取り組むということです。他に、どうでしょうか。それでは最後に、いくつか発問してきましたが、この資料の“自分以下を求める心”の中に「私」がみんなに、読者に訴えたかったことは何か。」あるいはこれを読んで、また今日の授業をこのようにしてきて、自分がここで言っておきたいこと、また、それ以外でもいいですから、誰からでも発表してみてください。

YT(男)よくわからないけど、自分以下を求めてばかりだと、その自分は全然進歩がないし、その自分以下と言われている人も、とても嫌だろうし、そして自分以下を求めている人はダメな人になっていくと思う。自分以下というのは何の役にも立たないし、ただ自分が安心するだけなので、自分以上を求めることを、自分が向上していくように頑張れたらいいと思う。

ST(女)私はこの資料を読んで、今の自分以上を目指して頑張ることの大切さをあらためて考えさせられました。今までの自分は本当に弱い人間だったんだと思います。今の自分以上を目指して生きていたら、本当に信頼して、助け合える仲間ができると思います。今の自分だけでなく、3Dみんなでの3D以上を目指していきたいです。

KK(男)人は他人の大きないいところを見つけるよりも、小さな欠点を見つけると言います。それがどんなに恥ずかしいことなのか、どんなに間違っていることなのかを訴えているように僕は思いました。

T₁₁:自分自身の心構えとか印象、あるいはこれからの3Dのクラスのことでも述べてくれました。

HM(女)この資料を読んで、何事にも全力で突っ走りたいと思いました。それで疲れたときに、ふと振り返ったら、支えてくれる人がいる。そんな風に味方がいつ、どんなときでも味方であってくれるような人間になりたい。同和問題も同じで、振り返ればいっしょに考えてくれる仲間がいる。そんな関係を作っていきたいと思いました。

SA(男)人と比べる前にまず自分と比べよ。人と比べるから人に負けたときに、自分に自信が持て

なくなったり、不安が増え、自分以下を求めてしまうのだと思います。昨日の自分と今の自分というふうに今の自分と闘っていけば、本当の自分が見つけれると思います。

AT(男)自分以下を求めることがどんなに恥ずかしいことなのか、どんなに醜いことなのか。自分以上を目指して全力で生きていかないと、“自分以下を求める心”がない生き方はできんと思います。どんな人にだって自分以下を求める心はあると思います。ただそれが出るか、出ないかの違いだと思います。たったそれだけの違いで、人として大きく違っていくんだと思います。

KJ(女)よく判らないんだけど、“自分以下を求める心”が差別につながることは確かだと思います。“自分以下を求める心”があつたら、人を見おろすから、そんな心が心の中からなくなれば差別がなくなると思うけど、私の中にもそういう心があると思うから、なくしたいと思っています。

AC(女)私はいろんな人と接して、もしその人の悪いところを見つけたとしたら、私は「ここが悪いから直そう。」と言えるようにしたいです。互いに成長していきたいです。

OM(女)私は今まで自分以下ばかり求めていました。「あの子もできてないからいいわ。」と自分以上になろうともしませんでした。だからこれからは自分のことをしっかり考えて恥ずかしい生き方をしないようにしたいです。

IM(女)私は差別はいけないものと知っているだけ、判っているだけでは差別はなくならないといっているのだと思います。行動していくことで差別は改善されていくんだし、差別をしていると、この資料にも書いてあったように、自分が差別されても、本当に差別されても、差別が悪いということに気付かなくて、差別が悪いということに気付かないからどんどん差別をしていってしまうんだと思います。差別をしないように、今の自分以上を目指して生きていくことを目標にしていきたいです。

YR(女)私はこの“自分以下を求める心”を勉強して、自分の考え方が変わりました。自分以下を求めず、自分以上を目指して頑張っていこうと思います。これからは恥ずかしくない生き方をしていこうと思います。

T₁₂: もう一つ、プリントにはないのですが、補充的なものとして、この学習をしてきて思ったこと、今この時点で思うこと発表してください。いま言っておきたいことがあれば言ってください。特にまだ発表できてない人は頑張ってください。

YK(男)僕はこの全体学習の始まる前に、友達とかに“発表するん?”とか聞いていて、そして、実際に始まったら、自分はなかなか発表できなくて、最後までできなくて、友達のことばかりを言っていて自分のことを考えていなかったから、なかなか発表できなかったんだと思いました。

T₁₃: 何回も言うようですが、本当に多くの方が発表してくれました。自分の思っていることを、頭の中で考えていることを、まずみんなに聞いてもらうことは、与えられた権利であるし、自分が発表できる時間なんだということを自覚して、みんなが発表してくれたんだと思います。この後6時間目の授業がありますが、この雰囲気をもっともっと盛り上げて、この後はD組だけでなく、A組からF組まで、あるいは2年生も、自分の思うことをどんどん発言して、取り組んで行こうという姿勢を見せてほしいと思います。そしてD組の人はこの時間本当に頑張れたと思います。いい意味で予想外でした。これからの同和問題学習が楽しみです。それでは、全体で挨拶をして、少し休憩をしてから次の時間に入りたいと思います。

1993年5月27日（木）第6校時

3年全体 授業者 森口 健司

T₁：前回の全体学習や、今日の5時間目の授業を聞いていて、みんなは本当にすごい仲間になって行くだろう、すごい仲間へとつながっていくだろう、と思います。この学習というのは本間の仲間をつくる、本当に人間としてつながっていく、大事にし合う、尊敬し合う、認め合う、そういうつながりをつくっていく学習だと思います。D組の仲間が語ってくれたこと、こみ上げてくることを、また、思うことを、震えながらも語ってくれた、精一杯語ってくれたその思いを受けて、3年全体でこの取り組みを、この学習を、より良い、もっともっと確かなものにしていく、そういうこれからの1時間にしていきたいと思います。それと、2年生が2クラス入ってくれています。2年生の人たちは、どうしてあなた達が1年生の時、全体学習ができなかったか、そういうことを思いながら3年生につなげていくそういう学習にしていきたいと思います。本当につながっていく学習、そして部落差別を本当になくしていく学習、頑張っていく学習、本当に思っていることが言える関係になっていく学習、本当に仲間がつながっていける、部落という言葉聞いた途端に心が重たくなる、そのことを語りだした途端に涙がこぼれそうになる、そういう自らの中にある差別心というものをなくしていく、払拭していく、それを乗り越えていく学習を積み上げていく時間にしたいと思います。それでは最初の全体の礼をしたいと思います。それではSA君、号令をかけてください。最初に言うておきます。下向くな、胸を張れ、本当にすばらしい取り組みをしていきましょう。堂々と頑張りましょう。（礼）

T₂：これだけ熱い思いが語れる授業の後で、先生はあまり言葉を吐かない方がいいと思っています。みんなの思いをどんどんつなげていく時間にしたいと思います。一つだけ約束している原稿があって、これだけ紹介しておきます。この全体学習を始めた先輩が今日届けてくれた手紙です。実は数日前に今度第2回の全体があるっていうことを話したら、それについて返事を、思いを届けてくれました。その手紙だけ紹介しておきます。

《全体学習がまだ続いていることをとても嬉しく思います。卒業してまず、気になっていたことは、僕たちが卒業してこの全体学習が続いていくかということでした。だけど卒業して、まだこの全体学習は続いているということをいろいろな所で耳にします。卒業してもこの板野中学校がとても恋しく思われます。そして、全体学習の大切さというものをつくづく感じさせられています。高校の生活の中ではほとんどの生徒が同和問題について無関心というか、それ以外でも自分の意志を主張できず、周りの状況に流されているという状態の生徒がほとんどです。その中で今までと変わらずに活動していくということは簡単ではありません。しかしそれ以上に楽しいことが待っています。その楽しいことというのは、多くの人たちと、真剣に自分の意見とかを交わしていくうちに、本当の仲間意識が芽生えて、いろいろな所に、大切な仲間が数多く、数え切れないほどできたということがこの同和問題学習をしていて、一番のよこびでした。もう一つの楽しいことは、この問題は先生や生徒という関係を越えて、本当に人間としてつながっていける、本当に尊敬し合う、本当に認め合うことができる、そういう関係が僕の中にできてきたことです。高校に入って、この活動をしていくには、自分自身に本当に強い自主性がなければなかなかできません。中学校ではまだまだ先生なんかに頼ってられるかもしれないけど、高校に入ったらそんなわけにはいかない。自分自身がリーダーとなってこの問題を続けていくしかないのです。やっぱりだんだんと社会に近づいていくこともあって、中学校の時のように甘いことばかり言うてられません。自分自身も

勉強しないと、人に頼ったりするときに困るのです。今まで何度かくじけそうになったこともある。でも本当に頑張っただけのは、先輩達が本当に差別をなくしていこうという思いの中で、この学習を頑張ってくれていることがどれだけ励みになったことか。そのことを伝えていきたい。この学習のよろこび、本当のよろこびを語れたよろこび、本当の仲間としてつながれたよろこびを、先輩たちもこのよろこびをつかんでいってほしい。そんな思いでこの手紙を書いています。全体学習が明日あると聞いて、僕は思わずこの手紙を書いた。これから明るい明日、差別のない社会、そういう展望に向かって頑張りたい。差別という壁に負けることのない、いつも前向きに生きる。そんな自分であり続けたい。これは自分への言い聞かせかもしれませんが、この取り組みは、この学習は僕の一生の目標です。》先輩達が築き上げてきたものをみんなが立派に受け継ぎ、今日の授業があった。3Dの仲間の思いに、みんなで精一杯応えていきたいと思います。授業を振り返って、この資料を振り返って、この資料を通して、こんなことを思っています、こんなことを感じていますというものをどんどん出し合っていきたいと思います。それでは挙手してください。授業を受けて、こんなことを思った、こんなことを感じたということを出してください。資料を通してつなぎ合いたいと思います。D組の人に思いをつなげていってください。

EA(男)D組の授業を見ていても、みんな途切れることなく、意見が続いていて、A組でいうたら、黙って、途切れて、すごく良かったというようになってないから、仲間を信じて意見を続けていくことが大切だと思います。

T : 手を挙げて言った。その後誰かがつなげて言ってくれたときに、グッとくる嬉しさというか、よろこびというものをE君につなげてください。

YH(女)さっきのD組の授業を聞いていて、私はすごく恥ずかしくなりました。でも、私は他人のことをとやかく言える人間でないけど、この資料の中に、他人のことをとやかく言わないんだから、本当に仲間として力を合わせることができ



る。というところがあって、他人のことはとやかく言わないと言うことはいいことだけど、どこかで自分とかが少しづつ引いていかないと、みんなが全力でつっぱしっていったら、やっぱりどこかで対立が起こって、それがまた差別につながっていくと思いました。

YY(女)私がこの資料を読んで思ったのは、自分にもまだ自分以下を求める心がたくさんあって、悪いってわかっているけど、ポロッと相手を傷つける言葉がでたりして、後で傷つけたかなあって思うけど、それがまだ直らなくて、まだ私の心の中に自分以下を求める心があると思います。

T : この学習について、この資料について、また、1回目から2回目へと流れてきたこの全体学習の中で、前回本当に吹き出てきたことを思い返しながらか、先生私はこんな気持ちでいるんだ。”私はこんな思いをもっているんだ”そういう本当の思いを語り合うということをお大事にしていきたいと思ひます。どうしてこういう大それた授業をしていくか。どこの学校もそうなんですよ。本当の思いを語らせないんですよ。教師自身があきらめてしまつて、

中学生になったらものを言わなくなると思って、資料を配って、そして感想を書け！。ほとんどがそれで終わってしまうんですよ。映画見たらその感想を書け！。それではひとつもつながらないんですよ。広がらないんですよ。仲間になれないんですよ。そんな授業ばかりなんですよ。この授業はそれに対する抵抗なんですよ。中学生は語れる。思いをもっている。その思いを語るのが本当の仲間なんだ。つながっていくんだ。だから語らない、感動しない、感じない感性になっていくんです。鍛えなければ人間は変わっていきましょ。みんなの思いをつなげていきましょう。

MM(女) D組の授業を見て、みんなすごい真剣に考えていて、本当によかったと思います。D組の授業を聞いていて、私はすごく反省させられました。本当にこれを続けていけたらいいと思います。

HY(女) 資料に思っているだけ……と書いているけど、やっぱり思っているだけとか、考えているだけというのだったら、ポロッと出たり、差別してしまうから自分のこととして考えることが大切だと思いました。



BY(女) 私もこの資料を読んで、自分以下の存在がほしいということは、負けて悔しいという心と、ビリだから恥ずかしいという心の、この2つの違いがわかりました。負けて悔しいというのは自分以上をめざしているような感じだけど、ビリだから恥ずかしいというたら自分以下を求めている心だと思うし、私も昔徒競走とかをしたときに、ビリだったら恥ずかしいと思っていたけど、今になって思ったらそれは自分が一番恥ずかしいことを思っていたんだなあとすごく反省させられました。だから明日も校内陸上とかあるけど、ビリだったら恥ずかしいとか考えずに、自分の目標や、課題をやりとげることが一番ベストだと思うので精一杯頑張ろうと思います。

T s: 今のBさんの発言をどう聞いたですか。努力しない人ほど人のことをとやかく言うという一節がありますけど、それはやっぱり自分に自信がもてないから“ああ、あしつよりましや。”“あの子よりましや。”“あのクラスよりましや。”“あの学年よりましや。”“あの学校よりましや。”努力せん者ほど人のことをとやかく言うている。大事なことは目に見えることには常に心を奪われていくけど、目に見えてこないものの中に本当に大事なことがあるんでないだろうか。その瞬間瞬間自分がどれだけ一生懸命生きたか、一生懸命頑張れたかということが問われていくんでないだろうか。勝つことやよりよい結果を残すことを目標として我々は生きています。でもその目に見えてくる結果よりもはるかにすばらしいものがある。それはやっぱりその道のりを、その歩みを自分がどう頑張ったか、どう生きたか、どう一生懸命になっていたかにあると思うんです。部活動をしているときも、勉強をしているときも同じだと思います。それともう一つ、部落問題と重ねてください。その中であいつらよりましやという最低なところに部落の人たちがおかれている現実。あそこよりましや。あの人たちよりましや。という中で差別が存在している現状。自分の中にあるそういうどろどろした

差別心、まだまだ私にはずっと下がいる、ずっと惨めな人たちがいる。自分がどんなに苦しかろうとも、まだまだもっともつと下がいるという中で、常に自分を安易な方に安易な方に楽な楽な方に考えていく。自分の中にある差別心。自分の中にある部落差別という問題。人を見下しているという問題。人を踏みつけているという問題。自分にとって自分以下を求める心ってなんな。この資料ってなんな。自分の中にあるどろどろしたものを本当に汚いものを、それを洗っていくということはどういうことなんかな。この学習をすることの意味、この学習について、学習プリントにみんなの思いを記したその思いを語り合うということはどういうことなんかな。第1回の全体学習の時に、学習会の話になったとたんに、こみあげてくるあの苦しさ、涙があふれそうになる思いってなんだろうかな。この学習について、この授業について、この問題について、本当はみんなはどのように感じているんだろうかな。本当に思っていることを出し合うから、熱いもののがこみ上げてくると思います。さらっと流す、さらっとまとめたことを流すのでなくて、本当にこういうふうに感じているんだということ、僕は実はこういうふうに苦しんでいるんだ、はがいい思いをしてるんだ、という思いを出し合うことが本当の授業だと思います。第1回の全体学習の後半ことを思い出しながら、3Dが頑張ってくれた思いにふれながら、自分にとってこの勉強って何なんだろうかなということを出し合いたい。ある先輩がこういうことを言いました。部落ということが気軽に言える社会にしていきたい。そういう恐れやおびえを考えるたびに涙が出てくる。そういう社会でない、みんなが堂々と胸を張って生きていける社会にしていきたい、そういうがんばりを続けていきたいを思います。こんなことを思っています、こんなことを考えていますということを、これが本当に思っていることを出し合いたいと思います。これがここに3年生全部が集まった意味です。全体学習の意味です。先輩たちの続けてくれという願いです。どうか本当につながりたいと思います。みんなの勇気を、ふるい立つような勇気を、立ち上がろうという勇気を信じます。つなげてください。語ってください。そしてその思いをつなげ合いましょう。こんなことを思っているんだということはないですか。なかなか解決しない峠をみんなで登っていきたい。

TM(女)人間は自分以下の人を見て、安心して生きている部分があると思います。だから、自分の意見を言ってから、それからどうするかが問題だと思います。

IK(女)何でも努力したら、何かが生まれてくると思います。全体学習も私たちが努力しているうちのひとつで、それを生活の中でどう生かしていくかが、問題だと思います。努力しても報われなかったっていうのは。ただのいいわけだと思います。自分を縛るっていうか、束縛してしまったら、今の自分に負けてしまうかもしれないから、どんどん意見を出してほしいと思います。

KT(女)私は自分の日常生活の中で、たくさん自分以下を求めていると思います。求めているというよりも、自分以下を探していると思います。人の良いところを見つけなくて、悪いところばかり見つけて、そんな自分がすごく恥ずかしいです。そんな自分を周りから見ると、ものすごく醜い人間に見えるんだなあと思います。それに自分以下を求める心があるから、それより上をめざそうという向上心が無かったように思います。こんな自分以下を求める心が、差別につながるし、差別心であると思います。これからは人の良いところをどんどん見つけて、自分以下を求める心を少しでもなくして、人として恥ずかしくない人間になっていきたいです。

HM(女)私も小学校の時ぐらいから、自分以下をずっと求めたりしていました。テストの点や校陸みたいな大きなイベントにしても、やっぱりあの子よりましじゃとか思って安心してた時が

たくさんありました。今考えてみたら、すごい情けないことだけど、自分以下ばかりもとめていたら、やっぱそれから進歩しないと思うし、これからは自分以上を求めて頑張っていきたいと思います。

OT(女) 他人を傷つけたりしないためにも、努力することってすごい大切やなって思うし、全力で頑張ったって思えたら、それで結果がどうあってもすばらしいと思います。

T : すべてのスタートはね、本当の思いを語ることからですよ。ごつつい勇気がいらいますよ。でも、それをせなんだら、ほんまに越えていけんと思うんです。この全体学習やってえね、最初からこんな熱いもんでなかったんですよ。した授業がメインでね、それにちょっとした感想を言うのが精一杯だったんですよ。それが本当にどうして吹き出てきたか。それはほんまの思いをぶつけたからですよ。ほんとの思いを語るところからね、差別解消の闘いっていうのはスタートとします。みんな先生方に聞いてみてくださいよ。先生ほんとう思うんですかって。先生のほんまの気持ちはどんなんですか？って。僕はこう思ってるんです、私はこう思ってるんです。ということを語り合う中で、すべての先生が部落問題に関わっての本当の思いを語っていったら、本当にこう生きたい、こうありたいという思いを語っていったらすぐに部落差別はなくなりますよ。でもそれを語らせない、語っていけない自分の中にあるどろどろした醜いものがあるって語れない。そういうものをほんとうにみんなで乗り越えていこうというのがこの学習なんです。それは自分自身を変えていくことであり、自分自身にすごい生き方をつかましていくことだと思うんです。こう感じてる、こう思ってるというものを出し合いたい。大事な時間を今過ごしています。つないでいきたいと思います。

MM(女) この前の全体学習で自分が部落出身だということはみんなの前では言うことができるようになったけど、これから高校や社会に出たとき、自分が部落出身だということをみんなの前で言うたら自分が周りの人から見たら自分以下の人間と思われるような気がするけど、こんな授業がこのまま続いたら、多分みんなが自分以下を求めるということをしなくなると思うけど、自分以下を求めるということがなくなるまでこの授業を続けたらいいと思うし、自分も自分以下を求める心をなくしたいと思います。

TM(女) 今のMさんの意見に対して、私から見た部落差別というのは自分が部落出身なのですごい身近な問題だけど、私から見た障害者差別というのが自分にはあまり関係ないことだし、そう思っているし、そういうのが自分以下を求める心だと思うし、たまにすごく悩んだり、いやなことがあったりして“もういやじゃ”と思うことがあったりするけど、そのときに私よりつらい思いをしている人はいっぱいいるのにどうして私はこんなことで悩んでいるんだろうと思うし、けどそれも自分以下を求める心だと思うし、でもそれが全体学習をすることによって、差別心が洗われていったり、自分以上をめざしていけたらいいと思いました。

T : 今のTさんの発表ですけど、それは自分以下を求める心だろうか。それを励みとして生きていくというのはごつつい生き方でないかと思うな。それを見下げて踏みつけていくんでないでしょ。みんなそれを励みに共に頑張っていこうという姿というのは本当に美しい姿だと思う。つなげてください。

JM(女) 私にも差別心や自分以下を求める心があると思います。それは自分を安心させるために自分以下を求めているんだと思います。自分以下を求めるのは人を傷つけてしまうのでいけないと思います。これからは今の自分以上を目指したりこのような全体学習で自分の心を開いて差別心を洗い流していきたいと思います。

MH(女) 私は1回目の全体学習に学校を休んでいて参加できなかったけど、今日はこの全体学習に参加できて良かったです。1回目の全体学習の時はB組の子がいろいろしてくれたとか聞

いて、私もその場に参加できなかったことがすごく残念でした。だから今日は発表できて良かったなあとと思うし、友達といっしょになって部落差別の解消に取り組んでいけることがうれしいなあと思いました。

T。：今日もMさんとTさんが熱い思いを語ってくれたですけど、あの日、5月14日の第1回の全体学習でものすごいものを感じてくれた人、本当に差別無くするために頑張らないかんという思いになっていった人、そしてあの日にはじめて学習会に行った人、そしてあの日にはじめて自分が部落の人間だということを知った人、いろんな形で成長していった第1回全体学習だったんです。部落が重荷でしかない社会、そういうふうな教育しか受けてこなかった自分が、それがこの学習の中で“そうやないんだ”“隠したり自分を惨めにしたりするもんでないんだ”というように、みんな自身の価値観が変わっていく、本当に人間を確かな生き方のできる人間にしていくということに気づいていった、そういうきっかけをくれたMさんやTさんの思いにみんなでつなぎ合いたい。本当の仲間としてつなぎ合いたいと思います。みんなの思いをつないでいきたいと思います。はいKNさん。

KN(女)第1回の全体学習で学習会のことのいついて言ってたんだけど、第1回の全体学習の時までは学習会に参加していなかった人も、みんなの意見を聞いて、学習会に行っている人の意見を聞いて、それから来てくれるようになった人がいてとてもうれしかったんだけど、その中に私たちの意見を聞いて来てくれた人がいて、うれしかったです。でも、それで満足するんでなくて、それより今以上にみんなが真剣に取り組んでくれること目指していくことが今の自分以上を目指すということだと思います。

T。：Kさんの思いにつなげてください。はい、KAさん。

KA(女)前回の全体学習で学習会の南会場の子が学習会のことについて一生懸命話しているのを聞いて、私はそれから学習会に行きました。みんなが一生懸命頑張っているのに私だけ見て見ぬふりをしていたらあかなあと思ったし、やっぱり3年生ということだし、最後やし、真剣に考えていくことが大事だと思ったし、みんなが一生懸命頑張って来いよ。って言うてくれるので私も行く気になりました。MMさんやTMさんたち同じ会場の子が励ましてくれて、今の私があったと思います。昨日も学習会に参加しました。

AS(男)僕にも自分以下を求める心があって、テストとかで悪い点を取ったら、知らないうちに自分より点の悪い人を捜していたりして、後で考えてみると、そんなことをした自分がいやで自分以下と思われた子もいやなので、これからは今の自分以上を目指して頑張りたいです。

HM(女)自分以下を求めず、自分以上を目指すと言っただけでは何にもならないので、私は行動できるようになりたいです。私も自分以下を求める心がなくせるようになりたいと思います。

AS(女)自分以下を求めてしまう心というのは、自分の心もちゃんと見れていなかったし、人の心も考えれなかったと思います。私にもそんな心があるので、その心をなくしていかなければいけないと思うんだけど、いつもすぐに忘れてしまうというのがあるので、それはいつも心にとめていかなければいけないことなので、きちんとしていきたいです。

MY(女)私もKさんと同じで、第1回の全体学習があるまで学習会には全然行かなかったんだけど、その次の日に学習会があって、行っただけで、自分が思っていたよりも、ほんとは行ったら、今頃来たりして・・・とか言われるんでないかと思っていただけで、みんな普通に接してくれたし、それから何回か学習会があったんだけど、KMさんが“来いよ。来てよ”と誘ってくれて、みんなこんなに積極的に行っているのに、私は今まで何をしていたんだろうかといろいろ思ったりして、塾とかで重なって行けない日もあるけど、1回行ってすごく学習会に来て良かったと思えるようになったし、自分の差別するような心とか、自分以下をも

とめる心をなくしていきたいと思うから、これからは誘われてというのではなくて、自分から学習会に行けるようにしたいし、もっといろいろなことに積極的にしていきたいと思います。

NY(男)自分以下を求める心があるということは、自分以下がいなかったら恥ずかしいというか、みんなに何か言われると思って、友達を信じていないと思います。だから自分以上を目指してこの全体学習にみんなで取り組んでいきたいです。

HA(女)(2年)私は学習会に行っていて、今日もあるんだけど、はじめて部落問題学習をしているとき、先生は何でこんなに熱をいれているんだろうと思ってたけど、それはこの勉強がどれだけ大事なことから、本当の意味での友達が作れるという大事な意味を知らなかったからと思うから、今の1年生とかでこの意味がわからん子がいたら教えてあげたいと思います。

T₁₀: 共に頑張ろうな。絶対仲間がおるけん。つながっていきましょう。

AY(女)自分以下をもとめて、それに安心して満足している自分というのは、それ以上自分が成長していけなくしています。

IR(女)私にも自分以下を求める心がありました。それをこの前友達に指摘されて、そのとき私は自分で努力して良くしようとしなくて、自分以下の人を求めて良くなろうとしていたことに気づいて、すごく嫌になりました。

NS(男)僕は自分以下を求める心をたくさん持っているけど、やっぱりテストの時に、自分より低い人を捜すけど、それは自分の心に負けているからだと思います。上の人を見て、自分も全力で上の子に追いついていくという感じで、生きていきたいです。

KS(男)今日のD組の授業を見て、自分以下を求める心というのは誰にでもあると思いました。そして自分以下を求める人は自分より下の人がいなくて寂しいと思いました。

SM(男)なんか僕は部落に生まれなくて良かったと、ときどき思います。でもこの前、KさんやMさんが言ったのを聞いて、やっぱり自分の考えはおかしいなと思いました。そんな考えがあるから、差別があったり、自分以下を求める心があったりするから、自分に厳しくなって、もっともっと考えていかなければと思いました。

KM(女)私も自分以下を求める心があります。だから自分以上を目指すためには、今私たちにできることは全体学習で話し合うことだと思います。発表して自分の意見を語ってこそが本当の自分が生まれるんだと思います。

T₁₁: はい、手があがってますが、学習会のこと、そして今SM君が言うてくれたことについて、いろいろ思うことを出してください。

EK(女)私も前に友達の悪いことを見付けて、友達と笑ったことがありました。今思えばあのときに気づいていたら、他の子を傷つけたりしなかったのに、今頃になって気づいたことはすごく恥ずかしいし、自分がすごく弱い人間だったということに気づきました。これからは絶対にそういうことがないように、言う前に気づきたいと思います。

ST(男)さっきから意見を聞いていて、何か言葉が重いというか、そんな感じがしたんだけど、そんな感じは今までしたことがなかったのに何でするんだろうと思って、それで言いたくなかったんだけど、みんなの前で、みんなが自分を出せたらいいなあと思いました。

T₁₂: ここまでしか言えないというさしさわりのあることでなくて、本間に思っていることを出し合いましょう。

YY(女)さっき自分に自分以下を求める心があると言ったけど、そういう自分にすごく腹が立ちます。それで、何かここにいられることが幸せだなあと思います。

T₁₃: 泣きそうになる気持ちや、こみ上げてくるような気持ちといったものを語ってください。

NY(女)私も自分以下を求める心がありました。日常生活の中で、このことは私の方が上だとか、

このことは私の方が下だとか、自分が上だったら良かったと思う気持ちがあるのに、下だったらそれを目標にせず、悔しんでいることがあります。もし自分以下を求めなくて、自分以上を目標にするということはすごく難しいことなんだろうけど、これからは自分以上の人を目標にしていけたらすごい素晴らしいことだと思います。

NK(男)自分以上を目指していれば、友達の良いところを認めて、対等かそれ以上につきあえるけど、自分以下の人とみていたらその人に対しては、見下したような感じになって、差別が生まれると思います。そうしているうちにどんな人に対しても、良いところを見つけられずに、悪いところばかり見つかるようになって、本当の友達はできないと思いました。

T₁₄: ちょっと一言言わせてください。人を見下げてみる、人よりましなというとらえ方でなくて、本当に自分以下を求めるんでなくて、いろんな状態で生きているその状態の中で、生き様に気づき、その生き方に本当に尊敬できる、そして本当に頑張ろうとする、そのがんばりを励みに自らも頑張ろうとするそういう生き方をつかんでいきたい。見下げて、踏みつけて、あいつよりましやってとらえている、そういう情けない生き方でなくて、一生懸命頑張っている仲間の思いにふれて、その一生懸命さにふれて、自分もひたむきに、一生懸命に生きる生き方をつかんでいく、そんな自分以下を求める心という資料との出会いにしたいと思う。つなげてください。はい、O君。

OK(男)僕は自分以下を求めるということは努力しなくてもできるけど、自分以上を目指すということは努力なしにはできないと思うし、それに自分以上を求めている人は努力をしているということで、自分以下を求めることなど考えていないと思います。

T₁₅: チャイムが鳴りました。今手をあげている人は立ってください。それでは順番に発表してください。

M0(女)私は今日午前中の授業の時にC組だけで言ったんだけど、小学校の時に1回この自分以下を求める心という資料を学習して、私は小学校のときいじめに加わったことをそのとき反省したんだけど、本当に心の底から反省はできてなかったと思います。そして今日学習したときに、私は本当に自分のしたことを反省させられました。そのときの自分は本当にバカだったと思いました。

TJ(男)僕も自分以下を求めたことがあります。自分以下の心を求めるということは峠だから自分もその峠を越えていかなければならないと思いました。

SY(男)僕は学習会にっている人は頑張っているなと思うけど、そう思うことは自分が逃げていると思うから、やっぱり学習会にっている子だけが頑張るんでなくて、自分も負けんぐらいがんばろうと思いました。

T₁₆: 学習会の仲間につなげる思いがあったら、つなげてください。

MM(女)私も自分以下を求めた心はあります。自分以下を求める心は他人を傷つけるけど、自分の心も傷つけていると思います。これからは私も自分以下を求めないで、自分より上の人を求めて生きたいと思います。

OS(男)僕は今の時間、自分の意見をまとめようとしてずっと発表できませんでした。まとめようとするのでなくて、もっとみんなを信じて伝えていきたいです。

KR(女)私は自分以下を求めるということは簡単だけど、自分以上を目指すということはすごい努力がいると思います。でも自分以上を目指す人の方が人間としての大きな成長ができると思います。

MM(女)この前の全体学習で、MさんやKさんが自分の本音を語ってくれたのに、私はそれに答えられない私にすごく腹が立ちました。でも今最後までできなかったけど、今発表できてすご

うれしいです。

KT(男)僕は自分以下を求める心を持ったことがありました。それは自分が思うに、自分が負けたということで、だから自分以下を求めることで、そっちの方に逃げていたので、自分の気持ちを勝てるように頑張りたいと思います。

YE(女)自分以下ということは自分より下にみるということで、友達は私の自分以下になってくれるために生まれてきたんでなくて、自分だってやりたいことがあるし、そんなことを思っではいけないと思いました。

KK(女)今日の全体学習をみて、私は今まで自分以下を求めたりしていました。そして今日の公開授業をみて、今の私は自分の弱いところに負けていたことがはっきりわかりました。だから今度からは自分の弱いところに負けないような人間になりたいです。

ST(男)僕は今まで何をしても自分以下を求めてきたと思うし、これからも思うかもしれないけど、何をしても自分以上をもとめていくようにしていきたいと思います。

KM(女)今いっしょの会場の学習会にっている子が何人か言うてくれて、ごっつい言おうかどうか迷っていて、やっぱり言わなかったら、今言うてくれた人を無視するような気がして、手をあげました。1回目の全体学習から、何人かの子が3年生になって、学習会に来てくれて、またちょっとだけ仲間が増えたような気がして、すごくうれしくなって、昨日も学習会があつて、1年生の子は大勢の人が参加していて、3年生もこんなようけ来たら、すごい良い仲間と言うか、みんなが信頼できる仲間ができるんでないかなあと思って、昨日の1年生をみていてうらやましかったです。まだ参加してない人も来てほしいし、全体学習とかでももっと積極的に自分から言えるようになりたいです。

IT(男)人間は強くないから、僕も強くないから、今の自分以上を目指して頑張っていきたいです。

TY(女)私は多分弱い人間だと思うので、自分以下を求める心があると思います。だから強くなって自分以下を求める心がないようにしていきたいです。

T₁₇: 学習会のことがでたらやっぱり心が重たい。また学習会の通知をもらうときにグッと息を飲み込む。給食の時に“今日〇〇会場、何年の学習会がある・・・”という放送を聞いたらグッとまた息を飲んでしまう。そんな思いにしている我々であるということ。部落の子に対するいろんな思いが部落問題に関するいろんな思いが部落の仲間を苦しめているということ。そして本当の思いを、部落の仲間に本当の思いをなかなか語らせない空気を雰囲気私たち、僕たちが作っているということ。ほんまの仲間になっていく空気を、雰囲気を、思いを、広げていきたい。そして、ほんまにつながっていききたいと思います。最後にほんまにみんなに言いたい。今日3Dのみんなが頑張ってくれたから、6時間目にまたみんなが頑張れた。この思いをそれぞれのクラス、2年生は今日2クラス参加してくれていますが、それぞれのクラスで、それぞれのクラスのものにしていく、そしてがんばり続けていきたい。この思いを受けて今度6月15日、3Fがやる。この場には1年生も、2年生も来る。第1回の全体学習の時に、みんながこみ上げた思いを、学校全体のものにしていく闘いを6月15日にしたいと思う。1つのクラスがいくら頑張ったってダメなんです。ほんとうにみんなが頑張っていく。このがんばりをみんなでも広げていく闘いをやっていきたい。そして今度する資料が突き刺さってくる。その突き刺さってくるものをしっかり受けとめて、確かな自分を作っていく、そういう学習を積み上げて行きたいと思います。本当の思いが語れる、本当の思いが語ることができる。それがほんまに差別を無くしていく闘いの始まりだということを知っていてください。今日学習した。前の自分より今の自分の方が好き。自分が好き。今の自分が大好き。そう言えるようながんばりをやっていききたいと思います。終わります。